

「町田市子どもマスタープラン25－34」2025年度の評価について

1 計画の評価

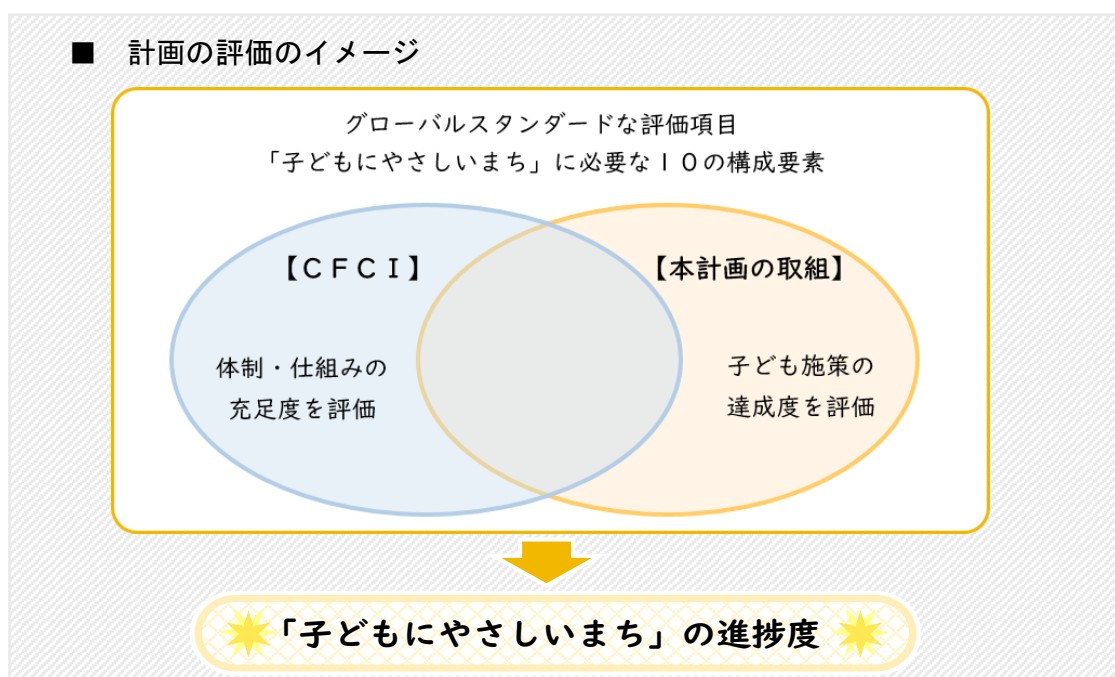
町田市はユニセフが提唱する「子どもにやさしいまちづくり事業（CFCI）」実践自治体として事業を実施しております。2025年からはCFCIが「子どもにやさしいまち」に必要として掲げる10の構成要素に基づき、本市の体制や仕組みの充足度と、子どもに関する施策の達成度の両面から「子どもにやさしいまち」の進捗度を評価します。

■ 「子どもにやさしいまち」に必要な10の構成要素

①子どもの参画の推進	⑥予算配分
②条例・規則等の制定	⑦モニタリング
③子どもにやさしいまちづくり戦略計画	⑧子どもの人権の広報活動
④子ども施策推進部署の実施体制	⑨独立支援組織の設置・支援
⑤施策実行に係るマネジメントプロセスの状況	⑩町田市子どもにやさしいまち条例の推進

※構成要素10は、ユニセフとの調整の上、2025年度実績分から変更しました。

■ 計画の評価のイメージ



2 体制や仕組みの充足度（CFCI）

本市が実施している「子どもにやさしいまち」の実現に向けた取組（資料3）を評価項目（資料2）に照らし、体制や仕組みの充足度を評価します。

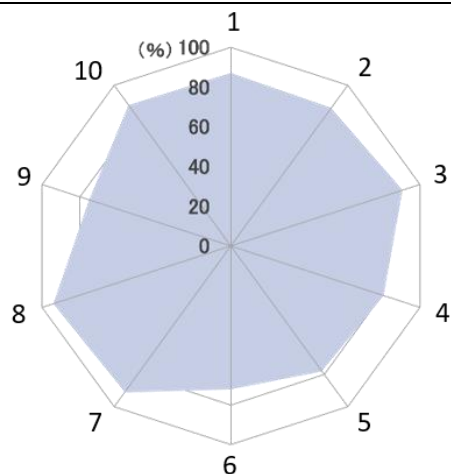
3 子ども施策の達成度（町田市子どもマスタープラン25－34の取組）

「町田市子どもマスタープラン25－34」に掲載している「主な取組」に設定された指標と目標値に対する達成状況により、子ども施策の達成度を評価します。

4 「子どもにやさしいまち」の進捗度評価の結果

「体制・仕組みの充足度」と「子ども施策の達成度」を一体的に評価した結果は下記のとおりです。

番号	構成要素	内容	体制・仕組みの充足度の評価	子ども施策の達成度の評価
1	子どもの参画の推進	・子どもの意見を尊重している ・子どもが意見表明・相談できる環境を整備している	92.9%	82.2%
2	条例・規則等の制定	・子どもの人権を尊重する条例が規定されている ・「町田市子どもにやさしいまち条例」の普及・啓発を行っている	90.0%	82.1%
3	子どもにやさしいまちづくり戦略計画	・「子どもにやさしいまち」の視点を取り入れた計画の策定を行い、すべての子どもを対象とした取組を進めている	100.0%	82.1%
4	子ども施策推進部署の実施体制	・「子どもにやさしいまち」の推進を主導する部署がある ・子ども生活部が中心となって各部署との調整や企画を行っている	83.3%	80.0%
5	施策実行に係るマネジメントプロセスの状況	・条例や規則、計画等の策定時に子どもへの影響を評価している ・上記計画等の策定・立案時に、子どもの声を聴いている	75.0%	82.1%
6	予算配分	・予算編成の過程や用途について子どもへわかりやすく説明している	62.5%	82.1%
7	モニタリング	・子どもに関する統計データを収集している ・統計データをもとに政策立案している	100.0%	82.1%
8	子どもの人権の広報活動	・子どもの人権の普及・啓発について、計画に掲載している ・子どもの人権について、庁内研修や教育課程に取り入れている	100.0%	88.0%
9	独立支援組織の設置・支援	・「子どもにやさしいまち」に向けて外部団体等と連携している ・権利擁護機関などの公的な第三者機関を設置している	75.0%	76.0%
10	町田市子どもにやさしいまち条例の推進	・安全安心な環境・居場所づくり、豊かな人間性を育む機会の提供、わかりやすい情報発信など、条例に沿った取組を行っている	93.8%	83.3%
合計			87.2%	82.0%
			子どもにやさしいまちの進捗度の評価	84.6%



担当：子ども生活部 子ども総務課